

# 道祖土小学校 令和5年度学校経営ビジョン

## 1 学校教育目標

心豊かで たくましい 道祖土っ子の育成 ～ 認め合い・学び合い・高め合う ～

## 2 令和5年度の重点目標と方策

### 学力向上に関する取組

#### ◎ 真の学力を育成するための学習指導の充実

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、ICTを活用したアクティブ・ラーニング型授業を展開する。
- ② 「さいたまSTEAMS教育」「さいたまSDGs教育」の学習を通じて、教科横断的・探究的な学びを推進する。
- ③ 「さいたま読解力向上教育」のねらいを踏まえた授業を実践し、探究する読み・まとめる力・発信する力を育てる。
- ④ 学力向上ポートフォリオを活用し、学習の基盤となる資質や能力を育成するとともに、個別最適な学びの実現をめざす。

### 豊かな人間性と健やかな体の育成に関する取組

#### ◎ 豊かな心と健やかな体の育成

- ① 「特別の教科道徳」の授業実践の蓄積と、認め合い合意形成のできる学級集団を育むための道祖土小特別活動スタンダード（話し合い活動・縦割り活動等）を実践する。
- ② 「希望あふれる学校づくり」、「いじめ撲滅運動」、「いのちの支え合いを学ぶ授業」を通して人権及び生命尊重意識を育む。
- ③ 自校体操の一層の活用、体力向上に向けた取組の充実、児童が主体的に運動に親しむ教育計画・環境作りを推進する。
- ④ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育・インクルーシブ教育を推進する。

### 安心・安全に関する取組

#### ◎ 安心・安全な学校づくりの推進

- ① 事故防止に関するマニュアルを策定し、危険を回避するためのシミュレーション準備や指導法の事前確認・教材研究を確実に行って事故を未然に防ぐ。
- ② 施設設備や通学路等の不断の点検・整備や見守りに努め、安心・安全な学校生活を確保する。
- ③ 児童が学校安全の課題を自分事として捉えて課題解決学習を行う安全教育研修を推進し、状況に応じた適切な対応能力や自助・共助意識を育む。
- ④ 家庭・地域と連携をとり、セーフコミュニティの道祖土小モデルを創る。

## ◎ 児童理解と教育相談・生徒指導の充実

- ① 保護者との連携により、基本的な生活習慣の定着、規範意識の向上と実践力の醸成を進める。
- ② 研修及び教職員相互の情報交換により児童理解を一層深めるとともに、個性を認め、心情に寄り添い励ます心のサポート体制を強化させる。
- ③ 子ども一人ひとりの変化に気付く目をもち、保護者も含め、組織全体で報告・連絡・相談・見届けを徹底し、いじめ等の早期発見・早期解決に取り組む。
- ④ スクールカウンセラー、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカー等との連携により、いじめ、不登校、問題行動、虐待等に対し専門的で質の高い対応を行っていく。

## 地域とともにある学校づくりに関する取組

### ◎ 家庭・地域との連携と協働の充実

- ① 学校経営方針や教育活動を積極的に発信・公開し、保護者・地域と教育の価値観の共有をする。
- ② 地域との共催行事、郷土の伝承文化行事等への積極的参加を促して郷土愛を深めさせるとともに、地域の一員としての自覚を高めてふるさと意識を醸成する。
- ③ スクールサポートネットワークの一層の活性化と安心・安全な教育環境の整備を進め、学校運営協議会と連携したコミュニティ・スクールを推進する。
- ④ 読み聞かせや教科・領域における学習支援ボランティアなど、地域の人材や教育力を積極的に取り入れた教育活動を展開する。

## 教職員の資質向上に関する取組

### ◎ 信頼され、機動力ある“チーム道祖土小”の構築

- ① 教員の資質・能力の向上により質の高い教育を実践し、「細やかな心遣いと誠意」を道祖土小の気風として、保護者や地域、関係機関との信頼関係を継続していく。
- ② 倫理確立委員会、ハラスメント防止委員会等を通して服務規律を確保し、教育公務員としての自覚と誇りをもって校務を遂行する。
- ③ 教職員相互の信頼関係と協働性を重視して風通しの良い、様々な危機や課題を乗り越える基礎体力と機動力のある教職員チームをつくる。
- ④ 教育的効果に照らして各行事の内容や校務分掌の業務内容を見直すとともに、ワークシェアリングを取り入れた事務処理の一層の効率化を図って働き方の意識変容を促し、チームの機動力促進を図る。